ゆきわり草

(公社)新潟県理学療法士会ニュース　No.178

発　行　日　　平成29年３月27日
発行責任者　　佐藤　成登志
会　員　数　　1,456名
事　務　局
公益社団法人 新潟県理学療法士会 事務局
新潟市中央区南笹口1丁目1番38号
コープオリンピア笹口303号
電 話　025－250－7660
FAX　025－250－7661

二年間を振り返って

公益社団法人　新潟県理学療法士会
会長　**佐　藤　成登志**

会員の皆様方、関係各位の皆様方、日頃から県士会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。紙面をお借りいたしまして深謝申し上げます。

27年度の定期総会で会長承認をいただいてから、2年間の任期が終わろうとしています。理事・監事・相談役の方々に助けられ、多岐にわたる内容について議論をさせていただきました。この2年間を振り返りながら、今後について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

会員のニーズと社会動向を考え27年度に組織編成を行いました。副会長を2名から3名とし、4つの部（地域包括ケアシステム推進部・就業支援部・スポーツ活動支援部・ブロック事業部）を新規に作り、3局14部体制としました。「会員および社会のニーズに沿う県士会づくりを目指す」、「会員が安心して仕事ができる環境づくりと、保健・医療・福祉・産業など社会全体を包括した広い分野における理学療法（士）の浸透を目指す」を目標に7つのシステム構築を推進してきました（HP内広報誌ゆきわり草No173、28年度総会資料末尾に掲載）。

具体的には、各部局が提示した目標に沿ったアクションプランを計画・実行してきました。各部長が責任を持って事業を展開し、副会長と局長が部をそれぞれ統括してきました。部により達成度の違いはあるものの、概ね80％位の達成（部によっては100％達成）ができたと考えていますが、新規の部では計画していたアクションが十分に実行できず、次年度以降の重点課題となりました。各部局の目標およびアクションプランの進捗状況、達成度と課題は、広報誌ゆきわり草、ホームページや定期総会等によって会員および関係各位にお伝えし、「見える化」を進めてきました。しかし、会員および関係各位からの意見をいただきながら改善していくといった「双方的なシステム」は十分に進めることができず、今後の課題となりました。29年6月25日（日）には、定期総会を予定しています。多くの会員にご参加いただき、士会活性のためのご意見をいただければと思っています。

最後になりますが、4月に発生した熊本地震においては、新潟県災害リハビリテーション協議会理学療法部門の責任者である小野塚先生（県立松代病院）を中心に対応をして頂きました。新潟県からは、JRATの一員として医師、理学療法士、作業療法士がチームとなり、県立新発田病院の相波先生に派遣して頂きました。ご理解頂きました職場と関係された先生方に改めて深く感謝申しあげます。

目　　次

二年間を振り返って…… 1
平成27・28年度のアクションプラン総括 …… 2
地域包括ケア病棟が目指すもの…… 3
職場紹介…… 4
リレーエッセイ…… 6
研修会参加記…… 7
平成28年度第3回理事会議事録 …… 8
平成28年度第4回理事会議事録 …… 11
学術局学会研修会だより…… 14
就業支援部からアンケートのお知らせ…… 15
第25回新潟県理学療法士学会優秀演題の決定について…… 15
事務局ニュース…… 16
平成28年度新人歓迎会開催される …… 18
広報部ニュース…… 18
編集後記…… 18

平成27・28年度のアクションプラン総括

27年度に佐藤新会長が就任され、理事会組織を改編しました。また、会長により大きな目標と7つのシステム構築が掲げられ、それに沿った各部署の役割や目標、アクションプランを明確化し活動してまいりました。下表は2年間の総括と今後の課題も併せて標記したものです。まだ課題が多く残されておりますが、この2年間で多くの目標を達成することが出来ました。ご協力ありがとうございました。今後とも新潟県理学療法士会の活動を会員の皆様にわかりやすく報告してまいります。

公益社団法人　新潟県理学療法士会　平成27年度・28年度の目標・アクションプラン

全体目標	会員および社会のニーズに沿う県士会づくりを目指す。 会員が安心して仕事ができる環境づくりと，保健・医療・福祉・産業など社会全体を包括した広い分野における理学療法（士）の浸透を目指す。 以下，7項目のシステム構築を進めていく。 1. 会員への情報提供が迅速にできるシステムの構築 2. 会員が安心して就業できるシステムの構築 3. 県内全域の会員が参加し易いシステムの構築 4. 社会のニーズ（地域包括ケアシステム等）に対応できるシステムの構築 5. スポーツ活動を支援できるシステムの構築 6. 理学療法士を社会に浸透させるためのシステムの構築 7. 学術的成果を発信していくシステムの構築				
局　責任者	**部**	**責任者**	**役割**	**目標（2年間）**	**アクションプラン**
事務局 郷　貴大	総務部	風間　美子	会員管理 入会者の促進と退会者への対策 理事会・総会の運営	1. 新卒者の入会率向上と退会者の減少 2. 2か月に1回の理事会開催 3. 総会開催と総会参加者数の増加 4. 会員への情報提供の迅速化	1. 広報誌および勤務先での勧誘 2. 理事会の日程調整，議事録作成 3. 総会に関する諸業務の実施 4. 電子媒体での情報提供
	財務部	太田　智英 堀川　武範	会計・財務全般（公益法人） 会費の管理	1. 予算執行100%達成 2. 会費未納者0%達成	1. 予算実績進度報告（巡回監査ごと） 2. 入会，退会，異動会員の把握 2. 楽天カードの促進，未納者への積極的通知
	厚生部	風間　美子	会員の福利に資する事業全般 会員交流会の企画・運営 慶弔電報の発送	1. 新人歓迎会の開催 2. 慶弔電報発送についての周知	1. 広報，会場調整（県学会開催時） 2. ゆきわり草での広報
	地域包括ケアシステム推進部	深川　新市 大野　智也	ケア会議等の担当者会議への会員派遣 介護予防事業への会員派遣 派遣会員の名簿作成，管理と派遣 各市町村からの依頼窓口 市町村等地域へのリハ職活用の啓発と会員の派遣	1. 派遣会員の名簿作成 2. 士会長あいさつ回り実施，地区担当者会議 3. 地域包括ケア推進委員会議開催 4. 推進リーダー養成各200名達成，名簿作成	1. 研修の実施，地域包括推進便りの発行 2. 県，市町村担当課への挨拶 3. 年2回の会議開催（4月，10月） 4. 推進リーダー研修終了者名簿作成
	就業支援部	上路　拓美	就業に関する諸問題の抽出 ハラスメント・ワークライフバランス相談窓口 潜在理学療法士の再就職支援	1. 就業支援部事業の方針検討 2. 就業に関する諸問題の抽出	1. 部員勧誘，組織構築 1. 部内で方針検討 2. 会員向けアンケートの実施および結果公開 2. 管理者研修会の開催
学術局 高鳥　真	学会 研修会部	高鳥　真	学会・研修会の企画，運営 協会講習会の運営 助成研究の募集 研修会記録の管理，貸出	1. 会員の質的向上，新プロ履修，専門・認定取得に繋がる学会，研修会の企画 2. 会員参加率の向上 3. 認定理学療法士必須研修会の開催 4. 県内地区ブロック単位での研修会の開催 5. 他部局関連の研修会サポート	1. 県学会大会長を会員から選出 1. 2. 研修会案内の見直し 3. 認定理学療法士必須研修会の開催地に立候補 4. ブロック単位での研修会開催の検討，ブロック部員公募 5. 人材育成，理学療法（士）の啓発に必要な研修会の運営
	生涯 学習部	田中　健	新プロ履修，生涯学習活動，専門領域への登録の促進 専門・認定理学療法士の取得啓発 会員の履修状況の管理	1. 新プロ履修率の向上(80%) 2. 専門部会への登録率向上(70%) 3. 専門・認定理学療法士の取得数向上	1. 研修計画の策定，eラーニング利用促進 2. 生涯学習システムの案内 3. 取得に必要なプロセスの理解を図る
	学術誌部	立石　学	理学療法新潟，県学会抄録集の発行 会員の業績把握	1.「理学療法新潟」の内容充実と年度内発行 2. 県学会演題数の増加	1. 論文優秀賞の設立（原著，症例報告，調査） 1. 会員（専門理学療法士）への論文依頼 2. 演題優秀賞の設立（各セッションごとの投票）
	スポーツ活動 支援部	飯田　晋 高橋　利一	スクールトレーナーの育成・派遣 スポーツに関わる勉強会の開催 会員のサポート活動参加の促進	1. スポーツ支援の活動ができる会員の発掘と育成 2. 大会（健常者・障害者）へのサポートを行える会員の確保 3. 会員および県民（スポーツ愛好家）対象の研修会開催 4. 学校保健における理学療法士活用の促進	1. 2. スポーツ支援部員を確保（上・中・下越・佐渡） 3. 会員および県民対象の研修会の計画と立案 3. 健常者・障害者スポーツ競技大会の情報収集 4. 情報収集，会員への周知
社会局 五十嵐　進	広報部	松林　義人	県士会HPの管理，運営 広報誌ゆきわり草の発行 県民への理学療法・理学療法士の啓発	1. 会員に対してリアルタイムに情報を発信する 2. 県民への理学療法・理学療法士の啓発の充実	1. 2. ホームページのリニューアル ・ブログなど開設 ・一般の方々が見やすい内容へ修正 1. 会員専用メーリングリストを作成 1. フェイスブックなどのSNSを活用
	公益 事業部	柳　保	理学療法週間事業の運営 市民公開講座の運営 各市町村福祉祭りの参加 新潟県地域リハ連絡会の管理・運営参加	1. 広く県民に対する理学療法（士）の理解の促進 2. 会員に対する公益法人としての役割についての啓発 3. 地域リハに関する理解の促進	1. イベントでの理学療法（士）のPR実施 1. 介護予防を中心とした理学療法のアピール 2. 会員の公益事業への参加促進（公募） 3. 地域リハ連絡会の運営参画
	保険部	大島　治	保険診療報酬，介護報酬の把握 コンプライアンス対策等調査 会員の問い合わせ対応	1. 県内外の保険診療，介護報酬に関する情報の発信 2. 会員における保険診療，介護報酬に関する迅速な対応	1. 他県士会の保険部との連携 2. 施設毎の差に調査をどう反映させるか検討 2. 広報誌に問い合わせ先を掲載
	渉外部	五十嵐　進	関連業種団体との連絡 他県士会との連絡 政治参加活動	1. 多職能団体，他県士会との連携 2. 理学療法連盟との連携	1. 官公庁，他職能団体，他県士会との連携 2. 連盟講演会・研修会の支援 2. 政治活動・連盟活動のプレゼンテーション実施 2. 連盟組織作りの支援
	ブロック 事業部	桑原　勇	上・中・下越ブロック事業の推進 ブロック事業の企画・運営	1. 上・中・下越ブロック事業の推進 2. ブロック事業の企画・運営	1. 2. ブロック長の選出，部員募集，組織構築 1. 2. 他部局と協議し適切なブロック割の決定 1. 2. 他県士会のブロック活動の実態調査 1. 2. ブロック事業の計画立案

地域包括ケア病棟が目指すもの

（公社）新潟県理学療法士会
地域包括ケア推進部
深　川　新　市

平成26年度に新設された地域包括ケア病棟は、平成28年には全国で1.770病院が届け出を出しており、その病床数は55.800床ほどになっています。

国が急性期病棟からの転換を進めている目標には届きませんが、2017年中には大きく動く事でしょう。地域包括ケア病棟には、求められるいくつかの機能があります。その1つが急性期からの受け入れ機能、ポストアキュートであり、2つ目が在宅生活者の緊急時の受け入れ機能、サブアキュートです。3つ目が在宅復帰支援機能であり、4つ目がそれぞれの地域で、様々なニーズに対応できる周辺機能といえるでしょう。これからの地域包括ケア病棟は地域包括ケアシステムの理念に基づき、それぞれの地域の実情に応じてサブアキュート機能を強化してゆくことが、生き残りの鍵となるでしょう。

別表は新潟県内の平成28年での回復期・地域包括ケア病棟の届け状況の調査結果です。いずれも大きく伸びていますが、今後は転換によりさらに増えてゆくでしょう。調査結果に漏れや誤差がありましたらご容赦ください。

新潟県回復期・地域包括ケア病棟開設病院名一覧（平成28年）

地域包括ケア病棟

上越地区	
県立柿崎病院	10
厚生連糸魚川病院	47
県立妙高病院	8
厚生連けいなん病院	24
合計	89

中越地区	
県立十日町病院	56
見附市立病院	8
済生会三条病院	46
厚生連魚沼病院	22
厚生連三条総合病院	45
富永草野病院	18
上村病院	15
合計	210

下越地区	
県立新発田病院	45
厚生連豊栄病院	34
厚生連村上総合病院	48
新潟リハビリテーション病院	22
木戸病院	54
新潟臨港病院	25
新潟南病院	34
亀田第一病院	31
下越病院	41
新潟白根総合病院	12
信楽園病院	44
中条中央病院	47
総合リハビリセンターみどり病院	29
合計	466
24施設病床数合計	765

回復期病棟

上越地区	
新潟労災病院	43
上越地域医療センター病院	55
合計	98

中越地区	
長岡西病院	60
厚生連柏崎総合医療センター	45
悠遊健康村病院	100
三之町病院	120
合計	325

下越地区	
県立リウマチセンター	48
済生会新潟第二病院	42
厚生連新潟医療センター	54
新潟リハビリテーション病院	60
木戸病院	50
桑名病院	48
総合リハビリセンターみどり病院	120
新潟中央病院	47
下越病院	36
岩室リハビリテーション病院	95
北日本脳神経外科病院	50
合計	650
18施設病床数合計	1073

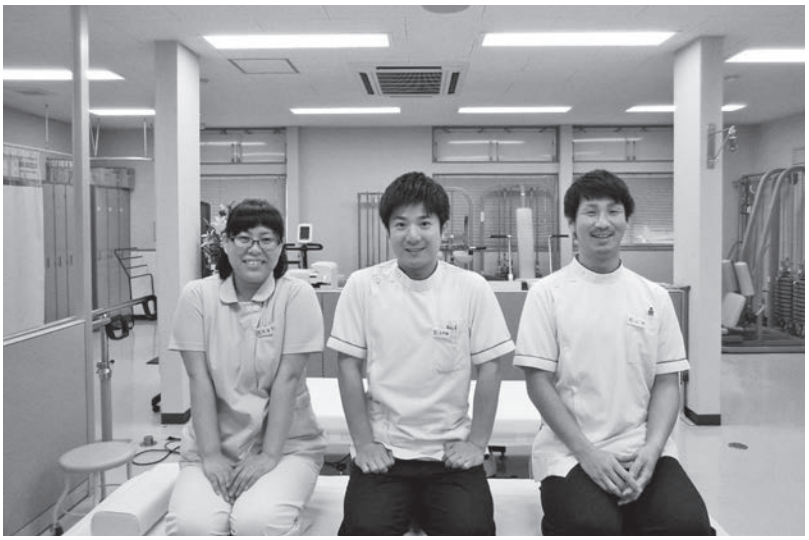
木島整形外科

当院は新発田市の中心部、新発田駅から徒歩約10分の立地に平成6年に整形外科中心の外来治療のクリニックとして開院し、23年目を迎えました。

県北地域にはリハビリ専門職が常勤しリハビリテーションを行っているクリニックが少ないことから、当院にはリハビリ目的に近隣地域（胎内市、村上市、阿賀野市など）からも多くの患者様が通院しています。なかには1時間かけて通院して来られる方もいらっしゃいます。

整形外科全般の保存療法を主体に、手術後の外来フォロー、事故外傷、小中高生のスポーツ障害（予防）等、幅広く対応しています。また近年、新発田市地域も徐々に高齢者世帯が多くなってきており、その中でも「できるだけ長い時間、自宅で生活を送りたい」と話をされる方も多くなっています。その声に少しでも力になれるように当院でも転倒予防・ロコモ予防事業などにも力を入れて取り組んでいます。

現在、経験年数10年未満の理学療法士が3名とまだまだ未熟ながらも患者様の治療に向き合っています。今後もより良いリハビリテーションを提供できるようにスタッフ全員で切磋琢磨しながら努力していきます。



職場紹介２

メッツ整形外科クリニック

当院は平成 12 年に設立され、今年で 17 年目を迎える外来のクリニックです。

近隣には、内科、歯科、有料老人施設、薬局といった医療施設が充実しており、長岡市川崎のメディカルタウンとして地域に親しまれてきました。

スタッフは総勢８名、うち PT は１名となっています。主な対象者は、骨折や変形性膝関節症の保存療法、腰痛症、スポーツ外傷など、さまざまな疾患の患者様がいらっしゃいます。長岡市では個人病院で理学療法を展開する施設が少ないため、患者様伝えで当院を知る方や、病院からの紹介で退院後のリハビリを希望される方も増えています。

現在高齢化が進む中、運動療法と聞いて積極的に取り組まれる患者様が多いように思えます。中には理学療法を知り、興味を抱いてくれる方や、これをきっかけに健康の大事さを改めて実感される方が増えてきました。

そんな地域の方々の意欲に負けないよう、また患者様やそのご家族にご満足いただけるようスタッフ一同努力して参りたいと思います。

リレーエッセイ 1

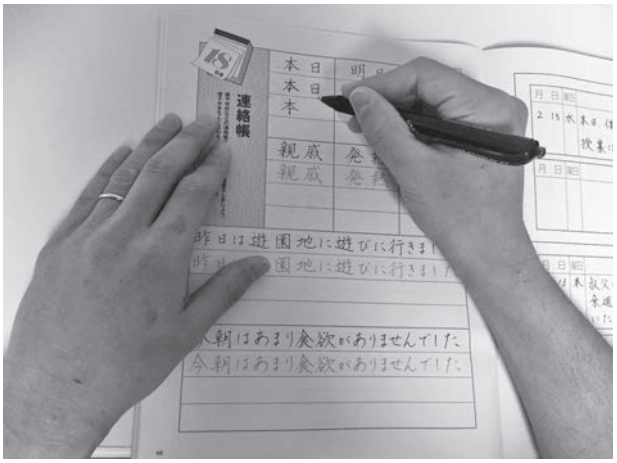
尊敬される父親を目指して

五十嵐整形外科　**高　橋　　諒**

社会人になり、もうすぐ３年になります。就職してからは、カルテや書類関係のほとんどをパソコンで打つことが多くなり、手書きで文字を書く機会が少なくなりました。そんな中でも患者様や先輩の前で文字を書く機会はあるのですが、あるとき

「おめさん、字きったねんね、書き方も下手っぴだわ」

と言われたことがありました。自分でも字が上手いほうではないと分かっていましたが、さすがに少し落ち込みました。



私は去年結婚し、あと１ヶ月ほどで父親になります。字が下手くそな父親は格好悪いなと思ったので、ペン字のテキストを購入し、空いた時間に字を書く練習をしています。まだ始めたばかりですが、職場の方から

「前よりも字がきれいになったね」

と言われ、やりがいを感じています。我が子から尊敬される父親になれるようできることから頑張っていこうかなと思います。

次は、ながおか生協診療所の横山未咲さんです。よろしくお願いします。

リレーエッセイ 2

魚沼基幹病院　**今　井　遼　太**

先日、17年ぶりにスキーを買いました。中学生までは競技で毎週やっていたスキーも、時代の波に流されいつの間にかスノーボードへ。子供ができてからは雪山に行く機会すらありませんでした。一昨年実家である南魚沼市へUターンしてきたこと、そして子供が大きくなってきたこともあり、子供にスキーを教えるべく再開しようと決意しました。道具を選び始めると当時の勝手と違い、選び方がわからず調べ回りました。新品が欲しかったのですが、経済状況を踏まえ、ヤフオクで中古をお手頃価格で購入しました。そしてストックは20年前のお古です。

久しぶりのスキーで体力の衰えを身に染みて感じましたが、学生時代に頑張ったことを思い出させてくれました。来年は子供と一緒に滑れるかな？魚沼圏域には沢山のスキー場があります。スキー企画の際には、ぜひ南魚沼市のスキー場をご利用ください。次は、長岡西病院の小越恵さんです。よろしくお願いします。

研修会参加記

新潟県厚生連　糸魚川総合病院
理学療法士　**飯塚　将光**

平成28年11月13日、ユートピアくびき希望館にて、新潟県理学療法士会プログラムに参加させて頂きました。

当会では、椿淳裕先生から、運動時の呼吸循環器系のリスク管理について、バイタルの数値からリスクを察知する方法を、村木孝行先生から肩関節疾患の患者さんに対し、プロトコルに沿った評価・治療プランの立案の仕方について御教授頂きました。

又、島田裕之先生から、介護予防や健康推進事業の重要性について御講義頂きました。

最後に、市民公開講座として、松平浩先生から腰痛対策についての講義を、理学療法士の他、一般の方も多数聴取されました。スライドの動画に合わせ、一般の方が体操を行い、施行前後で歩容が変わった為、会場から大きな拍手が起こりました。

今回教わった事を日々の業務に活かしたいと思います。

最後になりましたが、御講義頂いた講師の先生方をはじめ、本研修会運営に御尽力されました先生方に深く感謝申し上げます。

各種車椅子・座位保持装置・ベッド・コミュニケーションエイド
福祉機器・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修
㈱ G・T・B (オーエックス新越)
〒956-0017 新潟県新潟市秋葉区あおば通2-28-27
TEL 0250-25-2626　FAX 0250-25-7710
http://www.gtb-niigata.jp

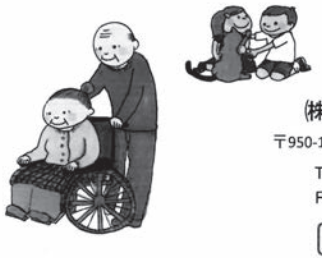
D.M.S ㈱デムス
住宅機器・福祉器具・障害器具等販売
NISSINの車椅子
メーカー直　PARAMOUNTのベッド
エンゼルの看護用品
〒940-0056 長岡市呉服町2-2-15　TEL 0258-35-5915

HII 看護リハビリ新潟保健医療専門学校
厚生労働大臣指定理学療法士養成施設・看護師養成所
〒950-0086　新潟市中央区花園2-2-7
TEL:025-240-0003　FAX:025-241-6655
URL: http://www.hi-college.ac.jp

有限会社 長谷川義肢製作所
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-44
電話 (025)223-3630
FAX (025)222-2750

全てはお客様の笑顔のために
まごころ印刷の
株式会社タカヨシ
帳票
発送代行
ラベル・シール
WEB・デジタル
■本社・工場
〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1丁目3-21
TEL(025)381-2000㈹
医療関係印刷物はタカヨシで http://www.takayoshi.co.jp

水治療法機器　運動療法機器　作業療法機器
電気療法機器　入浴装置　ADL用品
KMK 源川医科器械㈱
本　社 新潟市中央区東中通2番町279番地 ☎(025)229-7766
長岡営業所 長岡市稲保4丁目720番6号 ☎(0258)22-6711
上越営業所 上越市春日山町3-18-54 ☎(025)525-2521

義肢・装具・車いす・インソール
ご相談、ご用命は弊社にお任せください。

㈱田村義肢製作所
〒950-1151 新潟市中央区湖南21-11
TEL:(025)281-0303
FAX:(025)281-0339
田村義肢 検索

平成28年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第３回理事会議事録

日　時：平成28年10月23日（日）　10：00～16：00
場　所：新潟県理学療法士会事務所
出席者：佐藤(成)、深川、中山、五十嵐、郷、風間、太田、堀川、大野、上路、立石、飯田、柳、松林、
監事　剱物、佐藤（雅）
欠　席：高鳥、田中、高橋、大島、桑原
相談役　小林

議　題

１．議　案
①平成28年度８月から10月各部事業報告
②その他
２．協議事項
①平成28年度各部局今後の予定について
②その他
３．県学会について

会長報告

・公益事業部のイベントである健康福祉まつりを視察したが、かなり盛況であった。
・小川協会副会長の参議院議員当選について、新潟県は高い得票率であった。
以下、ＰＴ協会の見解
協力が多かったのは「在宅リハを考える会」であった。
残念ながらOT・STからの協力はあまり得ることが出来なかった。
次回は13万～16万票の獲得を目指す。
・PTの質の低下が言われている。　行政への対応や倫理面(逮捕される事例もあり)について職域の拡大を図る。養成校は３年制から４年制へ移行する方針
・事務局との連携を図る。
他県では学術局がNPO法人を取得している。今後、検討が必要。
・会長行動報告
OT県学会に招待され参加。今後当士会もOT・STを学会に招待するか検討。
他士会長からは３士会合同学会を行ってはどうかとの意見あり。
他、行動報告（理事会承認）

副会長報告

・中山副会長の行動報告
９月16日　新潟県福祉保健部新潟圏域医療構想に関するヒアリングに参加し、以下の要望を行った。
在宅医療への人材が少ない。病院から在宅に出ていける体制作りが必要（理事会承認）

1.①各部局平成28年度８月から10月までの活動報告

（総務部）
・資料にて報告（理事会承認）
（厚生部）
・祝電　４件　　弔慰金１件
（財務部）
・巡回監査が行われた。　学会研修部の通帳の内容を財務会計ソフトに入れた方が良い。最終的な金額は合うが、途中の入出金の把握が困難。
・ゆうちょ銀行も振込み手数料が掛かるようになった。現金支払いはできればしたくないが、わずかな振り込みにも手数料が掛かるため、今後の対応をさくら会計と相談中。
・公益事業部など入出金が大きくなる部署は、通帳を作成し出納係を置き１イベント毎に仮払いと残金の戻しというやり方がよいのではないか。
・１イベント１事業として入出金を管理しないと、金額が合わなくなった時にわからなくなる。但し、通帳を作成しても現金出納簿を作らないといけない。事業が大きな部には必ず出納係を置くようにしなければ管理困難。少しずつ始めることとし、今後についてはさくら会計と相談して決定。
（理事会承認）
（就業支援部）
・アンケート結果をHPに掲載
・管理者向けのアンケートを実施予定
・（会長より）協会の倫理委員会でパワハラがあったがどこに相談して良いか分からないとの問い合わせがあった。今後、就業支援部に関わる問題として対応が必要。
・今後、パワハラなど実際に話が来たときにどのように対応するか、以下の意見があった。

山口議員の秘書に弁護士資格をもった方がいるので相談できるのではないか。
東京都士会は顧問弁護士がいるが会員からの苦情に対応することが多い。
個人にアドバイスはよいが、団体として介入すると業務妨害として訴えられる危険性あり。
県士会としては、協会にあげたものを顧問弁護士に対応してもらうか、無料相談会に行くようにアドバイスする等の対応となる。（理事会承認）

（地域包括ケア推進部）

・８月12日　リハビリテーション専門職協議会の専用総合口座（北越銀行）開設
・新潟県福祉保健部高齢福祉保健課に３士会の活動内容を示すメニューリストを作成し発送
・介護予防推進リハビリテーション指導者総合育成事業実施契約書（再契約）を締結
・10月16日　地域包括ケア推進リハビリ専門研修会75名の参加
・今後の研修会について　市町村の要望を踏まえた研修とする。
県担当者が各市町村から要望を取り、それをもとにPT・OT・ST担当者が検討
・来年度の県単事業が行われるか分からないため、会長が県に確認を取る。（理事会承認）

（学会研修部）

・９月24日・25日の理学療法士講習会：会費の設定も安かったが参加者36名と少なく赤字決済となった。
・協会のHPから入ると手数料が掛かるが楽天カード、振込みなどで手数料が違う。
・研修会等で実際の出入金に対しては当日の入金しかわからず、タイムラグが出てくるため、事業ごとに財務が振り分け作業必要
・協会へ会費と学会研修費を別に入金、できればイベント毎に分けて入金して欲しいと要望として伝える。（理事会承認）

（生涯学習部）

・活動報告（理事会承認）

（学術誌部）

・県学会の学会誌　1600部印刷必要　（会員数増加のため）
・2015年業績　学術誌部長へ
・メディカルオンライン使用料について（理事会承認）

（スポーツ活動支援部）

・東京オリンピック、パラリンピックについて
経験豊富なフィジオセラピーが対応して欲しいと言われている。（PTに限らない）
事前合宿に対応して欲しいが条件としては英語が話せる、ボランティア。
傷害が起きた場合について、個人か団体か損害賠償請求あり
救急対応を要求された場合どうするか。
400名くらいのサポートメンバーが必要ではないか
今後研修会で知識、技術を習得してもらい、協力して頂ける方を募集する。
日本選手団は監督推薦でトレーナーは決まっているはず。サポートが必要な人は帯同トレーナーがいない選手。

（広報部）

・ホームページリニューアル　最終確認後一般公開に向けて準備
・メルマガ登録：会員番号、名前、職場名で登録可能　平成28年　（10～15％）
Face book 現在登録187名　（10～15％）
・電子化したいもの：研修会資料　全てデータでは流用の恐れあり
郵送物：メルマガに移行したい　登録されればこちらから配信される。（HPは見てもらわないといけない）　県学会で説明
・ロゴ　前回の多数意見で決定　商標登録はどうするか。タカヨシでデザイン登録してあるかもしれないので確認
県学会でロゴの発表（理事会承認）

（公益事業部）

・９月17日・18日　長岡すこやか・ともしびまつり　来場者270名
９月22日　健康寿命フォーラム　来場者50名
10月16日　新潟市民健康福祉まつり　来場者150名
いずれも大盛況
・協会へ50万円の助成金申請　今後も継続事業か未確定

（保険部）

・廃用症候群の単位制限はなくなった。

張替医師の動きが大きかったが、県士会として情報提供ができ、対応した結果についてのアピールをした方が良いか。

（渉外部）

・10月13日　小川克巳参議院議員来県　国政報告会を県士会事務局で行った。
小川氏から会員からの意見が欲しいとのこと。今後は、会員から意見を集め、小川氏側に提出する方向性を確認

・理学療法士政策研修会、「戦略思考セミナー」について今後配信予定

・新知事決定　動向を確認

（表彰委員会）

・県知事表彰　小野先生に対する最終結果の正式報告待ち

（ブロック事業部）

・地域包括関連で顔合わせ会（ブロック別）

・上越ブロック丸山先生より県学会に協力依頼あり

・災害対策についてもブロック化必要（理事会承認）

（事務局）

・士会強化事業について
協会からの申請書について
士会事務局にPT資格のある人を配置したいとの話から出てきた。
申請については期間が短く困難

②その他
新潟市地域医療介護推進センターにて摂食嚥下パス作成の話あり。
リハビリテーション専門職協議会でも関わっていく必要あり。（理事会承認）

2.①平成28年度今後の活動予定

（会長）
アクションプランのチェックを行い、年度末には整理が必要。
協会への要望がある場合は会長へメール。

（総務部）

・理事会資料は、次回から印刷せずにパソコン上とプロジェクターを使用する。（理事会承認）

（地域包括ケア推進部）

・新潟市は区ごとに担当者を決める。

・リハビリテーション専門職協議会の印刷物は３士会で分けて請求（理事会承認）

・地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダーの手続きが完了した方の名簿を作成。

（学会研修部）

・理学療法士講習会　応用編　今までのものは今後行わず。今後については検討

・ロコモ・コグニサイズはアンケートの結果、好評であった。
今後はブロックで行ってはどうか。
（今後の検討事項）

・来年度、地域包括ケアシステム推進リーダー導入研修はブロックでおこなってはどうか。
（今後の検討事項）

・専門研修は長岡で開催

・基金が使えるかどうか確認できていない。確認必要。

（生涯学習部）

・専門・認定理学療法士のミニレクチャーを行う予定。

（学術誌部）

・理学療法新潟発行

・優秀論文規定のたたき台を作成

・関ブロ学会の査読者名簿10名の見直し　専門理学療法士に限る。

（スポーツ活動支援部）

・10月30日　関ブロ学会で会議

・12月17日・18日　ベースボールフェスタ　肘検診協力者を募る　公募してみるのも良い。

・高橋理事　水泳連盟との関係でサポート　県士会が参加できるようにできないか。

（広報部）

・ホームページ上の研修会のお知らせは１年程度で削除

・ロゴマークの決定　県学会で会員に報告

・メルマガの周知

（渉外部）

・災害対策委員会

・震災があった時のシステムをどのように作成するか。（今後の検討事項）

・１月に災害リハビリについての講演会

（表彰委員）

・関ブロの優秀賞に特別表彰　今後は震災協力者、

人命救助者等の表彰規定の作成

②その他

・シルバーリハビリ体操（太田先生の発案）
住民自体が運営していくようにノウハウを伝達
全国３名の統括マネージャー　都道府県マネージャー１、２名予定
県士会では担当は地域包括ケア推進部　上中下越に各１名

3.県学会

・平成28年11月12日・13日　ユートピアくびき希望館　託児所　締め切り延長
ポイントラリーは県士会研修会参加無料会プレゼント　企業６社
コーヒーショップ、豚汁、おにぎり、パンなど
市民公開講座450名以上来場されたらTVモニターで映す準備
・来年度学会　10月28日・29日　朱鷺メッセ

その他資料

・会員入会・異動名簿
・士会強化事業の支援金補助に関する計画書
・介護予防・健康増進キャンペーンにおけるモデルコンテンツの普及について
・連盟資料
・ふるさと対話集会について
・メディカルオンライン　使用料報告書

次回理事会　平成28年12月４日（日）10：00～
新潟県理学療法士会事務局
平成28年10月23日

会長　佐藤成登志
監事　佐藤　雅浩
監事　剱物　　充
以上

平成28年度
公益社団法人　新潟県理学療法士会
第４回理事会議事録

日　時：平成29年１月９日（月･祝）10：00～16：30
場　所：新潟県理学療法士会事務所
出席者：佐藤(成)、中山、五十嵐、郷、風間、太田、堀川、大野、上路、高鳥、田中、立石、飯田、高橋、柳、松林
監事　剱物、佐藤（雅）　　相談役　小林
欠　席：深川、大島、桑原

会長挨拶と報告

・理事会資料は紙媒体から電子媒体へ移行してきて、経費削減が行われてきている。
・平成27.28年度作成したアクションプランにおいて、活動が明確化されている。
・新しい部局ができての活動であったが、平均５割から８割程度は実行されている。

副会長報告

・中山副会長の行動報告
・深川副会長の行動報告（理事会承認）

1.①各部局平成28年度11月から12月までの活動報告

（厚生部）

・新人歓迎会の報告　11月12日　ホテルセンチュリーイカヤ　参加124名（新人31名、一般会員92名、大畑先生）　上越おもてなし武将隊に出演依頼し、大変盛大に行われた。

（就業支援部）

・協会指定管理者研修（初級）　11月12日、県学会で伝達講習を行った。
・関ブロ学会時、女性理学療法士の会を開催　各県２名の参加

（地域包括ケア推進部）

・ブロック事業部と合同で中越地区懇談会に参加した。（理事会承認）

（リハビリテーション専門職協議会）

・市町村の対応の違いや専門職間の温度差の違いがあり、意思統一が困難
・PT.OT.STの責任者が話し合いを持ちながら、方向性を統一して事業を進めなければない。（理事会承認）
・訪問リハビリテーション実務者研修会
100名募集したが参加は60名　　２日間おこなったが日数の検討も必要
経費削減について努力していくが、必要であれば予算をつけることも考慮。（理事会承認）

（学会研修部）
・11月12日・13日の県学会報告、準備委員会からの報告書あり
・地域包括ケアシステム推進リーダー導入研修
12月11日に開催、今後は地域包括ケア推進部へ移行
・学術助成　３件（理事会承認）
（生涯学習部）
・専門・認定理学療法士のいる施設で見学を受けると新人教育プログラムのポイントとなる。この施設の申請が１月末までとなっている。１月広報予定
（学術誌部）
・学会演題の大会長賞、奨励賞の選考　座長から１題推薦、大会長から２題
発表はゆきわり草で行う。表彰をどこで行うかについては当該学会では困難なため総会か次学会で表彰（今後の検討）
（スポーツ活動支援部）
・関ブロ学会でのスポーツ関連事業推進委員会に参加
・ベースボールフェスタの肘検診　募集したが、申込みはなかった。
（広報部）
・ゆきわり草の個人情報削除
・県士会ロゴ、ホームページ（以下HP）リニューアル　ゆきわり草No177にて広報
・メルマガ登録　60アドレス程度　思うように登録が伸びていない。
（公益事業部）
・新潟市民健康まつり　参加149名
・11月13日市民公開講座　330名　多くの一般市民（149名）にご来場いただいた。
（保険部）
・関ブロ士会へのアンケートについて　２月の関ブロ士会長会議で結果報告予定
（渉外部）
・11月29日　リハビリテーションを考える議員連盟総会
厚生労働省医政局医事課の担当者も出席した。
PT・OT法の改正について、一歩進んだ議論となっている。今後は半田会長から報告がある予定。
（表彰委員会）
・協会賞として感謝状の授与がある。
人命救助などの善行に対し行われるものであるため、対象となるものについては会員から情報を上げてもらい、受賞できるようにしていきたい。
（ブロック事業部）
・地域包括ケア推進部で上中下越に担当者を決めた。
（財務部）
・ゆうちょ銀行が振込み手数料を取られることになった。
次回の理事会までに運用手順を作成（理事会承認）

1.②県学会報告

・スタンプラリーを行った。研修会の無料参加券をもらった方は30名だった。
・託児所　各日２名の利用
・昼食　会場近辺に食事ができるところがないことからおにぎり、豚汁を用意した。
・市民公開講座　（330名の参加）
過去最大の参加となった理由は駐車場代が無料も要因か。
市民公開講座だけ駐車代の掛からない会場を考えても良い。
学会と同日開催でなくても良いかもしれないが、会員の参加が見込めるため参加者数が担保できる。

2.①平成28年度今後の活動予定及び②平成29年度事業計画（案）

（会長）
・新たな組織図を３役局長会議で作成した。組織図は協会の組織図を参考にしている。
→次回の理事会までに検討
（総務部）
・総会の在り方の検討が必要→３役局長会議で検討
（就業支援部）
・管理者研修会をどこで行うか
社会・職能局で行う。（理事会承認）
・就業支援ではトレーニングをするシステムも検討
継続課題
（地域包括ケア推進部）
・地域包括ケア懇談会（新潟市）地域包括ケア専門

研修会（長岡市）訪問リハビリテーション実務者研修会を開催予定
・訪問リハビリテーション施設便覧の更新予定
・地域包括ケアマニュアルについて
正式名称：地域包括ケアマニュアル編集委員会
編集責任者：小林量作先生　事務局：大野智也先生（理事会承認）
マニュアルの趣旨、マニュアルの発行形態（小冊子、PDF）については３士会で異なる。　PT士会は、小冊子を作製する予定。
（学会研修部）
・６月の研修会は100回記念研修会としたい。
・県学会は学会長　高橋明美先生、準備委員長
松林義人先生　10月28日　朱鷺メッセで開催予定
・講習会は基本編　２回　応用編　２回となり、今年度より２回増える。
・地域包括リーダー推進研修は地域包括ケア推進部へ移行（理事会承認）
（生涯学習部）
・新プロ履修率79.8％　専門部会登録率70.9％（785名）　専門理学療法士40人　認定理学療法士32人
・認定の指定研修を県内開催できないか。
必須研修が少ないためもう少し多く開催できないか。
e-ラーニングではできないか。
以上を協会に提案していく
（学術誌部）
・優秀論文は選考委員会で決定し、理事会の承認を得る。
・優秀論文選考規定（内規）の作成　賞状、副賞：クオカード（理事会承認）
（スポーツ活動支援部）
・３月17～20日　水球大会へのサポート　１月19日に決定すればHPへ掲載
・冬季国体が妙高で開催されるため、そこへの関わり方の検討（理事会承認）
（広報部）
・メルマガ登録への呼びかけ
・ロゴマークの商標登録　　ピンバッチの作成（希望者には有料）
・ゆきわり草　発行回数を減らしていく方向（理事会承認）
（保険部）
・理学療法連盟と共催で介護保険診療報酬に関する研修会の開催（理事会承認）
（渉外部）
・連盟と共催で診療・介護報酬改定研修会を開催予定。
・災害リハビリテーション協議会でコーディネーターの養成（理事会承認）
＜アクションプラン＞
・平成27年、28年度の総括

2.②平成29年度予算（案）

・予算が160万円の増（毎年80万円の増）　地域包括ケア、スポーツ、学会などの研修費
・事業費用200万円の増　　赤字40万円の決算
・今まで理事、会員の活動に対して保険に加入していたが、協会の保険が全員加入となることから、それらが賄えるか確認する。
・公益目的事業積立基金（災害）、事務所修繕積立資産、士会積立（50周年事業・流動資産現金預金）は必要
目標額を決めて積み立てる。
・事務所がいつまで使用できるか　今後は次の事務所移転を考え候補地の選定も必要
・学会研修部、公益事業部のスタッフの日当について
・印刷代の削減　月々の郵送物を廃止　ゆきわり草の発行回数の減
・旅費の規程　基本実費支給だが、他の用事などでルートが変わった場合は公共交通機関の現地までの往復で支給することとする。　細則に記載する。（理事会承認）

2.③その他

・管理者研修会　について
・関ブロ士会長会議　について
・理事選挙　立候補届け出　１月10日～２月17日まで

次回理事会　平成29年２月12日（日）10：00～
新潟県理学療法士会事務局

学術局学会研修会だより

学術局担当　**髙　鳥　　真**

会員の皆様には平素より学会・研修会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

2017年もあっという間に３ヶ月が経過しようとしています。さて、第26回新潟県理学療法士学会準備委員会では開催に向けて鋭意準備を進めているところです。高橋明美大会長はじめ準備委員の方々により、セミナー講師の選定が概ね終わりました。

特別講演に山口晴保先生（認知症介護研究・研修東京センター）、セミナー講師に渡辺学先生（北里大学メディカルセンター）、蒲田和芳先生（広島国際大学）、浅川康吉先生（首都大学東京）が決まっています。非常に中身の濃い学会になりそうです。進捗状況については随時お伝えしていきますので、どうぞお楽しみに！

平成28年度も残すところわずかとなりました。最新の情報につきましては、県士会HPをご確認ください。

協会の包括的会員管理システムを用いた決済代行機能を導入して1年近くになろうとしています。研修会での受け付けも比較的スムースに行えるようになってきました。しかしながら、会員の皆様への周知不足が原因と思われる問題もいくつかみられます。研修会に関して、何か分からないことがありましたら些細なことでも構いませんので、お気軽にお問い合わせください。

問　題　点	対　　応
「協会」と「県士会」の区別がわからない	日本理学療法士協会に入会と同時に、所属施設の所在している都道府県士会会員になります。詳しくは協会HPの「協会について」をご確認ください
マイページにログインできない （ID、パスワードを忘れた）	協会へお問い合わせください
新プロ履修中であるか修了しているかわからない	マイページでご確認ください マイページで確認できない方は生涯学習部までお問い合わせください
研修会に申込みをしたか覚えていない	返信メールまたはマイページをご確認ください
会員番号がわからない	会員カードの表左下に記載されている**８桁**の番号です
会員カードがわからない	JPTA Membership Card（協会ロゴ入りの緑色のカード）のことです
以前参加した研修会のポイントがマイページに反映されていない	研修会終了からポイント反映までには２ヶ月程度かかる場合があります ２ヶ月以上経過しても反映されていない場合は、生涯学習部までお問い合わせください

尚、同システムの利用に伴い、**原則として参加承認後のキャンセルに伴う返金は出来ません。また、参加費の支払いをせずに欠席された場合でもご入金頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。**

入会申請後に会員証がお手元に届いていない方でも会員番号がわかれば会員扱いとして研修会へお申し込みいただけます。その場合は、県士会HPからお申し込みください。ただし、入会申請中の方でマイページのIDならびにパスワード発行から３ヶ月以上経っても会費納入の確認ができない場合、順次会員権利が停止となります。その場合、申請中であっても「会員外」扱いとなります。ご注意いただき、かさねてご了承ください。

☆研修会申込み後のキャンセルについて

ご注意ください！研修会申込み後のキャンセルについては返金ができません。

決済代行機能の利用に伴い、協会の決済後のキャンセルついては返金ができませんのでご了承ください。申し込みに際しては、よく検討した上でお申し込みくださいますようお願い致します。また、止むを得ず欠席の場合は、キャンセル用アドレスからご連絡頂きますと幸いに存じます。ご理解とご協力をお願い致します。

キャンセル専用アドレス：pt.gakujutu@gmail.com

○研修会 DVD の貸出しについて
木戸病院　江川真司
E-mail：rehabilitation@kido-hp.com

○学会研修会関連のお問い合わせ
晴陵リハビリテーション学院　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

○生涯学習関連のお問い合わせ
桑名病院　田中　健
E-mail：ken-pt@mail.goo.ne.jp

○学術誌関連のお問い合わせ
新潟リハビリテーション病院　立石　学
E-mail：nirehp.m-tateishi@aiko.or.jp

○学術局全体のお問い合わせ
晴陵リハビリテーション学院　髙鳥　真
E-mail：takatori@seiryou-reha.ac.jp

就業支援部からアンケートのお知らせ

平素より就業支援部の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

昨年度は全会員を対象に、働きやすい環境作りについてのアンケートを行いました。今年度は管理者を対象にしたアンケートを行います。詳細は各施設に郵送した文書（自宅会員の方には送りません）をご確認下さい。今回もご協力下さいますよう、何卒宜しくお願いします。

事務局長　郷　貴大
就業支援部長　上路拓美

第25回新潟県理学療法士学会優秀演題の決定について

第25回新潟県理学療法士学会では、会員の皆様より口述演題40題を発表していただきました。パワーポイントでスライドの作成・発表練習と本当にお疲れ様でした。その甲斐がありどの発表も素晴らしく優秀演題の選考は大変苦慮しました。その中から、座長の意見、スライドの見易さ、発展性を考え合わせ、大会長賞と奨励賞を各１名選出いたしました。

大会長賞

新潟病院　山　崎　雅　史
「新潟病院における小児外来筋ジストロフィー患者・家族支援の取り組み」

奨 励 賞

上越地域医療センター病院　金　子　高　澄
「終末期がん患者の排泄動作に対するチームアプローチの経験」

今後とも、大会長賞・奨励賞の両賞が、学会の活性化と発表者のモチベーションアップにつながることを願っております。第26回新潟県理学療法士学会にて賞状と記念品を贈呈いたします。

「平成 28 年度新人歓迎会開催される」

厚生部長　**風　間　美　子**

去る 11 月 12 日、県学会開催と同日に平成 28 年度新人歓迎会を開催しました。

今年度は県学会が上越開催ということもあり、大竹大会長はじめ準備委員の方々のご協力のもと、ホテルセンチュリーイカヤにて開催することができました。会場がホテルということもあり、過去最高の 124 名という大勢の方から参加いただきました。

午後 7 時、佐藤会長、大竹大会長の挨拶の後、五十嵐副会長の乾杯の音頭で、歓迎会が始まりました。今回は準備委員の提案でアトラクションを行うこととなりました。上越地域ならではの上越おもてなし武将隊に出陣頂き、上杉謙信以下 3 名の武将隊の皆様から演舞の披露、そして新人代表の合図による勇ましい勝どきと、時間を忘れるくらいの盛り上がりをみせました。

また、講師の大畑先生にも参加頂くことができ、新潟と京都はこれからも力を合わせて頑張っていきましょうと、力強いお言葉もいただきました。

その後は次期大会長、新潟リハビリテーション大学の高橋明美先生から次期大会についてお話頂きました。そして恒例の新人自己紹介となり、登壇した新人の皆さんには自己 PR をして頂きました。それぞれが自分の言葉で、会場の皆さんに PR 出来るように頑張っていました。大勢の前で話をすることは大変だったかと思いますが、良い経験になったのではないでしょうか。

最後は中山副会長の一本締めで歓迎会を終了しました。

今年度はホテル開催ということもあり大勢の参加が得られ、大変盛り上がることが出来ました。来年度も学会と同時開催で予定しております。新潟開催となり今年度に負けないような盛大な会にしたいと考えていますので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。

今回上越開催ということで大竹大会長はじめ準備委員の皆様には多大なるご協力を賜り、まことにありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

広報部ニュース

メールマガジン（メルマガ）への登録をお願いします。

当会では、会員への迅速な情報発信と、ペーパレス化の実現に向けて、メルマガを構築いたしました。平成29年度より、随時情報をメルマガに移行していきます。

ホームページ右下の「メルマガ登録」をクリックしていただき、氏名・会員番号・メールアドレスを入力していただくだけで、とても簡単にできます。メルマガは会員に限定した情報を発信するため、入力の際はお間違えのないようにお願いいたします。（※会員であることが認証できない場合は、メルマガの配信を停止いたします。）ご協力をお願いします。

ホームページ：http://nipta.or.jp

編集後記

厳しい冬も終わり、穏やかな春を迎えようとしています。暖かい季候とともに花が咲き、明るい気分となります。この春でお別れをする方もいれば、新しい出会いも生まれることでしょう。平成29年度はどのような年になるでしょうか。みなさまにとって、よりよい一年でありますように！

（Y）

ゆきわり草　No.178

編集責任者　松　林　義　人

問い合せ先　新潟リハビリテーション大学
〒958-0053　村上市上の山2－16
TEL（0254）56－8292
FAX（0254）56－8291
E-mail：matsubayashi@nur.ac.jp